

# APPEAL

発行者  
JR 東海労関西地本  
大阪台車検査車両所分会  
2013年 6月19日  
NO.30

## 暑い台検庫！！ 社員が倒れる前に抜本的な対策を！

今年は梅雨入りも例年より早かったわけですが、雨も降らず、台検庫の気温は連日 30℃を越しています。

管理者は朝の点呼で「熱中症予防のためにこまめな水分補給を」と呼びかけています。

しかし、いくら社員がこまめな水分補給を行っていても、あいつぐ作業の効率化により作業密度ばかりが上がり、社員は休む間もなく働かなければならないのが実態です。

**会社がスポーツ飲料を社員に用意すること**

**台検庫の屋根に熱の遮断剤を塗ること**

台検庫は風通しの悪い作業環境なのだから、せめて台車組立、中修作業場上部の半透明屋根を熱の遮断剤を塗って欲しいと多くの社員から声が上がっています。

毎年、熱の遮断剤を屋根に塗ることや、駅で行っているように会社が社員にスポーツ飲料を用意することを要求しても、会社はいっこうに聞く耳を持たずしません。

せいぜい、塩のタブレットを配るだけです。これでは不十分ではないか？というのが台検庫で働く社員の実感ではないでしょうか？

台検庫で働く多くの社員は誰かが倒れなければ、会社は何も考えないのではないかと考えています。

**みんなで声をあげて職場環境を**

**良くしていこうではありませんか！！**